

日経平均は1月5日以来の2万9000円を上回る

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

海運が3営業日ぶりに買われる

昨日の日経平均は、前日比+353円(+1.2%)の2万9222円と終値ベースで1月5日以来となる2万9000円を上回った。業種別騰落率は、海運(前日比+3.1%)、その他製品(同+2.4%)、輸送用機器(同+2.4%)が上昇率の上位、空運(同▼0.1%)のみが下落した。個別銘柄では、商船三井(前日比+3.7%)、日本郵船(同+3.1%)などの船株が3営業日ぶりに反発、東邦亜鉛(同+6.8%)や住友金属鉱山(同+3.6%)などの非鉄株やソニーグループ(同+3.0%)や任天堂(同+3.0%)などのゲーム関連株、円安ドル高を好感して、トヨタ(同+2.9%)、ホンダ(同+2.8%)などの自動車株が買われた。一方で、ファナック(前日比▼0.8%)、オムロン(▼0.6%)など設備投資関連の銘柄が安い。

NYダウは6営業日ぶりの下落

現地17日の米国市場は、NYダウは前日比▼171ドル(▼0.5%)の3万3980ドル、ナスダックは同▼164ポイント(▼1.2%)の1万2938ポイントで引けた。英国の7月のCPIが前年同月比+10.1%の高さとなったことから、改めてインフレ警戒感が広がり、米国の債券市場が反応して株安を誘った。もっとも、NYダウは前日までに5営業日続伸、節目である3万4000ドルを上回っていたことから、利益確定売りの範囲内の動きともいえよう。NYダウの安値は前日比▼300ドル以上の下落となった場面もあったが、7月のFRBの議事要旨が公開されると将来の利上げ減速が意識されて下げ幅を縮小させた。個別銘柄では、在庫処分の影響によって決算が振るわなかったターゲット(前日比▼2.6%)が下落、今後の受注は弱含む可能性を示したアナログデバイスズが(同▼4.9%)が売られた。経済の先行き不透明感の高まりや金利の上昇からハイテク銘柄が売られ、SOX指数は前日比▼2.4%であった。WTI原油先物は、前日比+1.8%の88.11ドルと4営業日ぶりに上昇、米10年債利回りは同+0.09%の2.89%で終えた。

今日の予定

今朝のシカゴ日経平均先物は、大証比▼190円の2万9000円で終えている。今朝のドル円は、米国の金利上昇に反応して、1ドル135円(7時10分現在)を上回る円安ドル高で推移している。今日は、国内では目立った予定はないが、海外では、8月のフィラデルフィア連銀製造業景気指数、7月の米中古住宅販売件数、個別銘柄ではアプライドマテリアルズが決算発表を予定している。

東京市場マーケットデータ

2022/8/17 現在

日経平均	2万9222円
プライム売買代金	2兆8671億円
プライム時価総額	723兆4929億円
日経平均予想PER	13.1倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

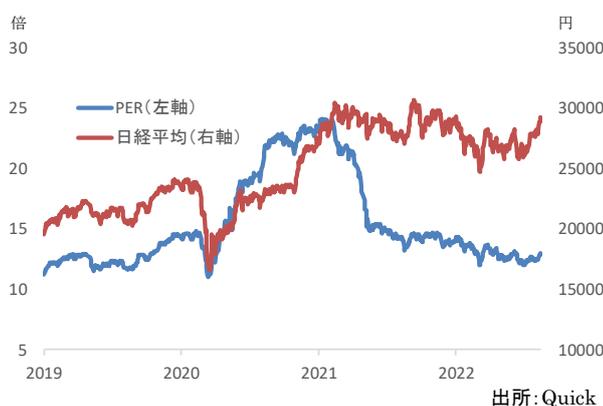
国内株式売買代金ランキング

2022/8/17 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼0.2%
2 ソフトバンクグループ	0.9%
3 ファーストリテイリング	2.7%
4 WSCOPE	▼5.9%
5 トヨタ	2.9%
6 日本郵船	3.1%
7 東京エレクトロン	▼0.3%
8 任天堂	3.0%
9 ソニーグループ	3.0%
10 川崎汽船	2.5%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大1,650円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合1,650円、

約定代金が55万円超3,000万円以下の場合3,300円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

